

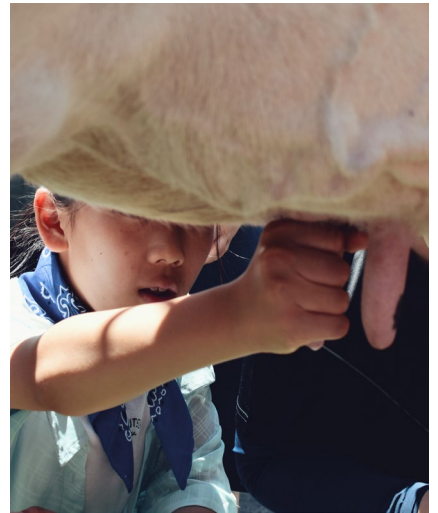


せやっこわくわくワーク農業コ-プ

2025.06.22

牧場にいこう

by オーガスタミルクファ-ム



瀬谷の牧場は、進化を止めない！

大都市で牧場を続けるのは難しい。でも、瀬谷の牧場は時代とともに進化する。

新しいアイデアをカタチにする瀬谷の牧場で、牛のお世話や乳しぼりに挑戦！

愛情をこめて、牛とともに生きる。横浜の酪農を未来へつなぐおしごとを学びました。



牛のお世話をがんばったみんなには、フローズンヨーグルトと焼き立てバウムクーヘンのごほうび！



オーガスタ ミルクファーム

運営する相澤良牧場は、親子三代続く瀬谷の老舗牧場。新鮮な牛乳を活かしたオリジナル商品を次々と開発し、瀬谷近隣の商業施設に出店するなど大人気。横浜の酪農の歴史を守りながら、型破りな発想と情熱で新たな道を切り拓き、瀬谷区内外の多くの人々に愛されています。



県立中央農業高校

農業の未来を担う「中農」のみなさんがやさしくサポート。社長の母校でもあり、牧場では中農出身の若手社員の方も活躍しています。

さいしょはびくびくしてこわかったですが、えさをやったりそうじをしたりしたら、すこしなかよくなれたきがしました。

バウムクーヘンは何回もかさねて作っていてすごかった。

みんなの感想

うしがそうぞうよりも大きかったので、びっくりしました。

うしさんのせいかつがわかってよかった。

牛がめっちゃかわいかった。お店のバウムクーヘンおいしい！



せやっこわくわくワークとは？

瀬谷らしく
あたらしい
未来につながる
おしごと体験

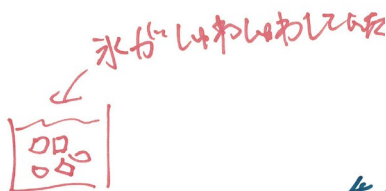
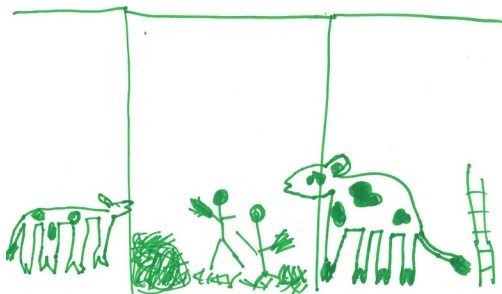
地域の産業を活かした瀬谷ならではの体験で、もっと瀬谷を好きになり、誇りに思うきっかけを創出します。

普段はできない新鮮な体験で驚きと発見を提供し、もっと知りたい！学びたい！という学習意欲を育みます。

瀬谷で活躍するカッコいい大人との出会いで、自分の将来を考える素材集めの場を創出します。



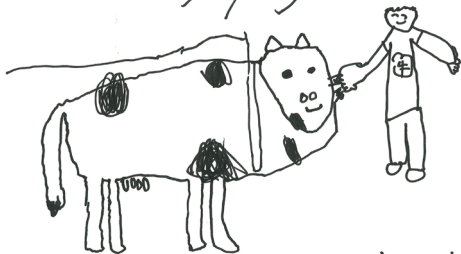
えさやりが一番楽しかった。



生後1月でたろといふことを始めて牛にタロリました。

牛の^{おっぱい}目の大きさにびっくりしました。
目の前でうんちや水をこぼりるので少しびっくりしました。バウムクーヘンのやき方も初めてタロリました。

ありがとう



またくるよ!

ういの乳が思っ
たよりもとうめ
いだった。

ういのおちちをししげるとき、ういに
ししげれたとさよわなうで恩のまぐさ

(牛です)

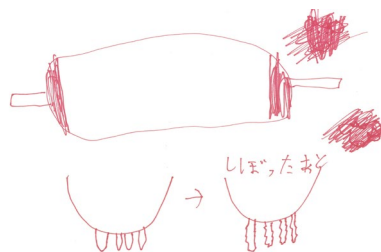


牛のちちからミルクがでてきてうれしかった。

牛がもっと好きになった。バウムクーヘンが火をきかなくてふふわわしていてとても

おいしかった。いままで食べたバウムクーヘンが一番おいしかった。

白バウムが一番好きだった。



牧場にしか、作れない。



実は酪農発祥の地、横浜。

しかし、最盛期には500戸を数えた酪農家も、
変わる都市環境の中、現在は9戸のみ。

横浜の酪農を守り、育てるため、
あふれる情熱とアイデアで、
牛乳の味わいを活かした商品を開発しています。

Seya Sustainable Sweets